No. 30　2023/4

# でんえい会誌　第 30 号

名古屋工業大学電気系同窓会誌
http://www.denei.jp/

## ＜創造工学教育課程の

## 分野横断的実践的学習＞

**国立大学法人名古屋工業大学副学長　犬塚信博**

2016 年度の改組において設置した学部・大学院を接続した６年一貫の創造工学教育課程は、2022 年３月に第一期生を輩出した。本誌 24 号（2017 年）でご紹介したこの課程のその後について、本学の教育の取組と併せて寄稿申し上げる。

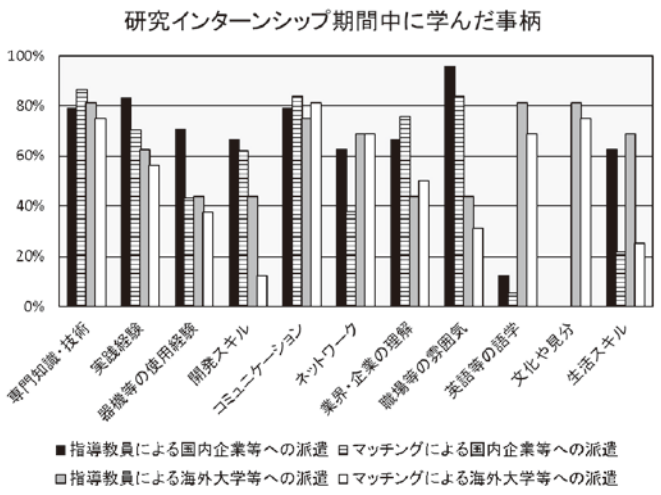
専門分野を学び、その分野の高度な技術者として育成する従来型の学科に対し、当課程は工学の全体に対するセンスを複合的に学び、新たな価値を創り出すことを主眼とする創造型人材を育成する。そのため、自身の学習を計画させるＣプランやそのビジョンに従って工学分野を学ぶことのできるカリキュラム、様々な分野を体得し、実践的活動を通じた学習、批判的思考やユーザ志向型の設計を体得し模擬的にプロジェクトを立案する工学デザイン教育等、従来にない学習の仕組みを持つ。課程の特徴の中で、特に経験を重視した点での特徴を中心にご紹介したい。

創造工学教育課程が工学の全般についての学習を目標とするのは、広い範囲の工学についての知識を身に付けさせるということではない。それは修了後、様々な仕事のため様々な職の人々と協働していくのに際し、自分の専門に閉じ籠らず、躊躇せずに連携や援助を求めることができ、分野毎に異なる感覚や重視点があることを理解してゆくことができる、懐の深い技術者を育てることにある。

こうした目標を達成する１つの仕掛けは研究室ローテーションである。研究室で過ごす卒業研究が学生を大いに成長させることは言うまでもない。研究室ローテーションは１年後期から工学全体から横断的に計８つの研究室で実践を積む。各研究室ではその分野の実験や制作、分析等の課題をこなし、プレゼンテーションとディスカッションで理解を深める。

学生のグループによるプロジェクト提案を求める課程に固有の授業はもう１つの特徴である。特に、３年生の PBL（Project-based learning）演習では、ごきそ技術士会の協力を得て実践的な事業計画を立案させている。これらのグループ学習は対象が実践的であるだけではなく、グループの構成が分野横断的であり、議論を通じて、自身の専門を超えた意見、アイデアを交換することになる。

課程の大学院段階で実施する研究インターンシップは実践経験を核とするもう１つの仕掛けである。学生は３ヵ月程度以上、国内外の機関で研究開発の実践（研修）を行う。ようやくコロナ禍を潜り抜け、2022 年度は学生９８名を送り出した。７２名が国内



の企業等で、２６名が海外の大学等で学んだ。

研修終了後の学生に聞いたアンケートの一部を図に示す（９３名の回答)。項目を挙げて期間中に学んだ（獲得した）かどうかを聞いている。国内か、海外か、指導教員が派遣したか、本学との連携する機関へのマッチングによる派遣であったかの区分に分けて集計している。グラフは各項目を学んだ学生の割合である。

専門知識・技術や実践経験は大半の学生が学んだと回答しており、学習の実感が強かったことが確認できる。また、コミュニケーションやネットワーク（人脈)、雰囲気等、知識外の修得効果も大きい。

指導教員による派遣は共同研究等の関係の中で連携先に派遣したものである。マッチングによる派遣は、本学に協力いただいている企業や協定を持つ海外大学へ、派遣したものであり、指導教員による派遣と異なり、派遣先での研究テーマは、普段の研究とは大きく異なる。こうした派遣のタイプの違いによる効果も今後分析を深めたい。

2023 年 3 月には第２期生を輩出する。上の調査と別に、本学が提供した様々な教育について自身の成長に役立ったか聞いている。研究室ローテーション、PBL 演習、研究インターンシップが役立ったと回答した 2022 年度修了生はそれぞれ 77.4%、70.4%、80.3%であった。今後は就職先企業へのヒアリング等、修了生の追跡調査を行い、人材育成の方法と効果を検証してゆきたい。

## ＜ARTFUL CAMPUS プロジェクト＞

**学長特別補佐（キャンパス整備）　須藤美音**

2021 年 11 月に愛知県立芸術大学（以下、県芸大）と名古屋工業大学（以下、名工大）との共同事業における契約を締結し、今日に至るまで、アート作品の設置や協働制作が行われてきました。本プロジェクトは構想の当初より、「御器所が丘にアートの風を吹かせたい」という、1 つの思いがあり、プロジェクトの企画が展開していきました。

名工大は 1905 年の創設以降この地に産業基盤の創出、産業人の育成を担ってきており、御器所キャンパスはそのプラットフォームとしての役割を果たしています。21 世紀に入るとイノベーティブな開発・製造や国際競争力の維持向上が求められるようになり、本学においてもそれを担う人材の育成が求められています。そして、そのプラットフォームとなるキャンパスにも変化が求められています。さらに、コロナ禍において大学のキャンパスは大きな転機を迎えました。講義がオンラインで実施できるようになったことから、キャンパスは共創の場であるという意味合いがより強くなりました。より創造的な活動の場へ、人と人との繋がりや経験が共有できる場へと変化が求められています。このような中、アートの風をキャンパスに取り入れることにより、芸術に親しむことによって、“心の豊かさ”を育み、自己の客観視、社会との対話、工学を俯瞰するための時間とキャンパス空間を構築したいと考えています。

本プロジェクトは 3 つの柱があります。まず“F＋ART”といい、学内へのアート作品の設置によりアートに触れることで、自己を客観視したり、工学を俯瞰的に見るような環境の構築を行いました。2021 年は、本プロジェクトを認知してもらうため、学内へのアート作品の設置を重点的に行いました。

２つ目の柱として“F＋Gallery”があります。ギャラリーは 2 号館の入口にあり、県芸大作家によるアート作品、県芸大と名工大の協働作品等が展示されています。作品は 2～3 カ月に 1 度入れ替え、様々なアートに触れるきっかけとなる場を作っています。

最後に 3 つ目の柱として“F＋Lab”があり、県芸大と名工大とのアートを通した協働プロジェクトとなっています。これまで実施された協働プロジェクトとしては、県芸大の作家と名工大の美術部の学生のコラボレーションにより壁画の協働制作が行われました（写真）。壁画は 23 号館、51 号館、大学会館にあります。また、県芸大の彫刻家と本学のソーラーカー部との協力により 3 つの作品が制作されました。NITech Hall 2F に犬の彫刻、東門広場にソーラーパネル付きのベンチ、52 号館エントランスにスチールオブジェクトが設置されています。

その他、県芸大の講師による美術の実習や、音楽の座学なども試行的に実施され、2023 年度より名工大大学院の講義に組み込まれることになりました。

また、県芸大が主催する演奏会に名工大の教職員・学生が参加できるようになりました。2023 年度からは名工大 OB や ARTFUL CAMPUS プロジェクトの寄附者も参加できるように準備をしています。

この F＋Lab は 2023 年度以降重点をおき、両学の研究者同士の共同研究に発展させる予定です。

写真　23 号館壁画

WEB サイト

## ＜電気学会「でんきの礎」を受賞＞

**電気・機械工学教育類　竹下隆晴(E57)**

【でんきの礎（いしずえ）】

名古屋工業大学は，一般社団法人電気学会「でんきの礎」を受賞しました。電気学会「でんきの礎」は，社会の発展に貢献し歴史的に記念される電気に関するモノ，こと，人，場所を顕彰するものです。顕彰名称「椎尾詷の発明によるベルト―ロ整流器」として，モノと人の顕彰として，名古屋工業大学は株式会社中央製作所（名古屋市瑞穂区）と名古屋大学とともに顕彰先に選ばれました。

【ベルトーロ整流器】

ベルト―ロ整流器は椎尾詷（しいお ひとし）によって大正時代に発明された回転機械式整流器です。同期電動機と多相変圧器の組み合わせによる低圧・大電流の直流発生機です。電流は最大 10,000A，電圧は最大 1,110V，出力は最大 250kW のものが製品として製作されました。その特性からめっき用電源をはじめ，アルマイト用，映写用，バッテリ充電用途等の直流電源装置として幅広く利用されました。

ベルトーロは，電力変換器を意味する「コンバータ」，「インバータ」に共通する「バータ」をエスペ

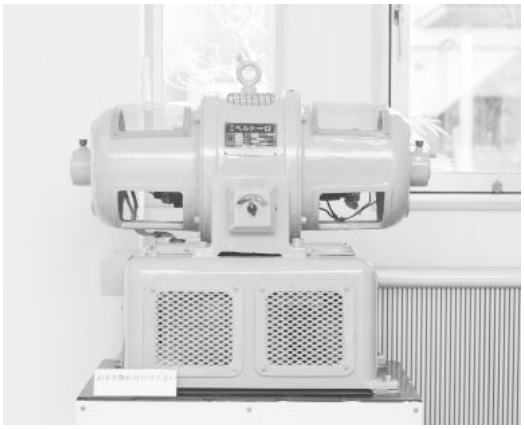


図 1　ベルトーロ整流器

図 2　授賞式で賞状を受け取る榊原久二男教授

ラント語読みにして，椎尾によりベルトーロ（VERTORO）と名づけられました。

【ベルトーロの歴史と名古屋工業大学の貢献】

椎尾は東京帝国大学理学部数学科在学中の 1918 年（大正 7 年）7 月に，「回転刷子型変流機」としてベルトーロの特許を出願しています。1920 年（大正 9 年）東京帝国大学卒業とともに，第八高等学校（現：名古屋大学）数学科講師となり，翌年には教授に昇任しています。椎尾は自力で町工場の片隅でベルトーロの模型を製作し，実験を試みましたが，電圧を加えて回り出したと思ったら，煙が出るなどの悪戦苦闘をしていました。そんな折，椎尾の旧知の名古屋高等工業学校（現：名古屋工業大学）電気科教授の清水勤二（後の初代名古屋工業大学長）の協力を得て，電気科助手の黒田定義とともに，名古屋高等工業学校の実験室で，1929 年（昭和 4 年）9 月 30 日に初号機を完成させました。

1934 年（昭和 9 年）に，椎尾と黒田は，事業化の支援を日本車輌製造社長の後藤幸三に依頼し，その年の 11 月 17 日に所主を黒田として瑞穂製作所を設立しました。さらなる事業展開のために，瑞穂製作所を発展的解消し，1936 年（昭和 9 年）4 月 27 日に中央製作所を設立し，社長に後藤，取締役に黒田がそれぞれ就任しました。その後，主に低圧・大電流直流電源用途に適したベルトーロは，1968 年（昭和 43 年）までに 7,545 台製造販売され，戦後日本の産業の発展に貢献しました。

【授賞式とベルトーロの展示】

第 16 回「でんきの礎」授賞式が，電気学会全国大会期間中の 2023 年 3 月 15 日に名古屋大学で開催され，電気電子分野代表の榊原久二男教授が賞状を受領しました。受賞に伴い，ベルトーロを中央製作所より寄贈していただき，「でんきの礎」の展示コーナーを，名古屋工業大学 6 号館 1 階玄関に設けていますので，母校へお越しの折りには，是非お立ち寄りください。

## ＜アプリ開発コンテスト日本一（二冠）！＞

**情報工学系プログラム　博士前期課程 1 年**

**竹味和輝**

情報工学専攻の竹味和輝が、名古屋市立大学経済学部 小島聡太氏と名古屋大学情報学研究科 刀禰有紀彦氏とともに日本全国の学生が集まって 1 ヶ月でプロダクトを作るハッカソン(JPHACKS2022)で、Best Hack Award(審査員による採点 1 位)、Best Audience Award(参加者含む投票 1 位)の 2 冠を含め計 7 個の賞を受賞しました。

**アプリの概要**

「TDL/TDS AI ナビ」

ディズニーランド・シー アトラクション攻略アプリ

1) アトラクションごとに待ち時間予測

2) おすすめルート提案(待ち時間・移動時間が少なくなるようなルート）ができる機能がついた今までにないアプリを目指して開発を進めていきました。

みなさんディズニーランドを訪れたときに、
「楽しいけど、待ち時間・歩く距離が長くて疲れてしまう」と感じたことはありませんか？そして、それが当たり前で解決できないものだと諦めていないでしょうか？

回り方によって 1 日で 2~3 時間以上も余分に待つことになりますが、機械学習や進化計算を用いることで問題の解消を目指します。ディズニーに詳しくない人でもアプリを使うことで待ち時間が少ないルートで楽しむことができます。

実際に、iOS・Android のどちらでも使えるようにリリースしていますのでぜひダウンロードしていただき使っていただけると幸いです！
ダウンロードは下記 QR コードから
(2023/4/1 現在 約 5000 ダウンロード)

Download on the App Store　GET IT ON Google Play

実際に東京ディズニーシーにてアプリあり・なしで回ってみたところ アプリを使って 2 時間 41 分も短く回ることができました！

## ＜2022 年度の就職状況について＞

**電気電子工学教育類 就職担当 竹下 隆晴**

2023 年 3 月卒業予定の学生を対象に進路指導を行いました。

学部生，第二部学生，博士前期・後期学生の約 200 名の学生が対象であり，そのうち学部生は進学希望者が多いことは例年同様でした。コロナ禍の影響を大きく受けることなく，求人企業や業種も例年なみの約 500 社からの求人がありました。

今年度の企業との面談は，企業の希望に応じて対面とオンラインの両方で進め，各社の求人情報を提供いただきました。面談した企業数は約 90 社で，コロナ禍にもかかわらず多くの企業と面談しました。電子データでの情報提供を企業に依頼し，求人票や企業アンケートの電子化を進め，学生へは企業情報を学内でのみアクセスできる Web 上で提供しました。学生にとって利便性高い進路指導に努めました。選考スケジュールについては，経団連の採用選考指針では会社説明会 3 月 1 日解禁，選考は 6 月 1 日開始とされていましたが，実際には 2 月あるいはそれ以前に面談，事前選考が行われていた企業もあるようでした。

お盆明けの大学院入試で残念な結果になり，就職に進路変更した場合においても，大手企業に内定が決まる学生も多くいました。電気電子系の人材不足が続いている状況です。

電影会において卒業生と学生との懇談会を実施していただき，60 名を超える参加学生に企業や就職に関する情報を提供いただきありがとうございます。ご支援をいただきました本学卒業生の方々をはじめとするお世話になった皆様に，厚く御礼を申し上げます。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

**情報工学教育類　就職担当　玉木 徹**

2023年3月卒業の情報系の学生の就職担当を務めました。情報系の進路指導対象学生は、第一部の高度工学教育課程情報工学科の学部生（3年生以上）、第二部電気情報工学科の学部生（4年生以上）で配属研究室の指導教員が情報工学科所属の学生、大学院工学専攻情報工学系プログラムの学生（修士1年生以上）、創造工学教育課程で情報を主軸とする学生（修士1年相当以上）で、一部学部生150名（うち就職27名）、二部学部生2名（うち就職1名）、大学院学生（前期）130名（うち就職128名）と、例年とほぼ同数でした。情報系の学生に対していただいた求人数もほぼ例年とかわらず、求人企業数309社（うち大学推薦応募可能256社）でした。

企業側との面談は例年と同じ時期の2021年11月から開始しましたが、コロナ禍の2021年8月から10月頃までのデルタ株による第5波と、2022年1月後半から6月頃までのオミクロン株による第6波の間の感染休閑期であったため、当初は対面での面談で開始しました。しかし第6波が始まり、緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置などが再開され、それに伴い大学側の学外訪問者受け入れ方針や、企業側の大学訪問方針なども二転三転する時期に重なりました。面談も対面で予定していたものが急遽オンラインに変更になる場合もあり、変化する情勢に合わせて対応する必要に迫られましたが、オンライン・対面あわせて70社近い企業との面談を行い、企業側の強い採用活動意欲を感じました。ただ企業側の採用活動準備は、2021年後半からの資源高騰に加えて2022年2月以降の大きな世界情勢の変化と歴史的な円安、2023年に入ってからのコロナ収束に伴う人手不足感、という状況が始まる前に行われていたため、次年度以降における採用活動にはこれらの要因がどのような形で影響するのか不透明です。

このような中での学生への進路指導として、2021年12月にはオンデマンドでのガイダンスを実施し、2022年1月にはライブ配信による大学推薦に関するガイダンス、2022年3月には学生との個別面談をオンラインで行いました。また本学主催の冬期（12月）業界研究セミナー、春季（3月）・夏季（9月）企業研究セミナーや、全学キャリアサポートオフィスの情報なども学生にとっては有用でした。

2020年度、2021年度に続き、コロナ禍の就職活動が3年目となったこともあり、オンラインでの就職活動のノウハウが数多く入手でき、それらが学生に浸透しており、学生にとっては企業説明、職場案内、面接などすべてが完結するという感覚もあるようでした。その一方で、企業側としては、学生の面接を対面で行いたい、学生に職場に来てもらいたいという思いが大きいが、まだ情勢がそれを許さない、という両者にとって乖離のある形態となったようです。2023年度はコロナが収束に向かっていることから、ほとんどが対面に戻ると思われるため、学生にとっては対面の就職活動のノウハウを新たに獲得するという必要に迫られることになりそうです。

末筆となりますが、ご支援を賜りました本学卒業生の方々をはじめとする皆さまに厚く御礼を申し上げます。今後とも変わらぬご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

## 2022 年度事業報告

1. 会合

| | | |
|---|---|---|
| ○電影会総会 | 2022.5.27 | 名工大 6 号館&ｵﾝﾗｲﾝ |
| ○第 1 回役員会 | 2022.10.24 | オンライン |
| ○学内幹事会 | 2022.12.12 | オンライン |
| ○第 2 回役員会 | 2023.2.24 | オンライン |
| ○幹事会 | 2023.3.22 | オンライン |

2. 事業

○学生向け講演会

(1) 2022.11.8:日本アイ･ビー･エム(株)東京基礎研究所　山道新太郎 氏 「コンピューティング技術の将来 - Bits/Neurons/Qubits -」

(2) 2023.2.6:ごきそ技術士会　橋本英樹 氏、鈴木克彦 氏(J57)

○新入生向け電影会案内:一部･二部学生、編転入生に対して実施

○卒業祝賀会 実施見送り

○電影会会誌発行(第 30 号)2023.5

○大学行事補助 1 件

○電影会賞贈呈 2023.3.26

○卒業生と学生の懇談会 2022.12.12(オンライン)

## 2022 年度決算

| 科目 | 収入 | 科目 | 支出 |
|---|---|---|---|
| 繰越金 | 4,146,111 | 通信費 | 711,472 |
| 入会金 | 1,205,000 | 印刷費 | 625,458 |
| 工業会より | 0 | 事務費 | 369 |
| 利息 | 19 | 会合費 | 16,252 |
| 雑収入 | 0 | 学生行事補助 | 104,555 |
| 寄付金 | 944,098 | 大学行事補助 | 20,000 |
| | | 総会補助 | 84,365 |
| | | 支部活動費 | 150,165 |
| | | ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ経費 | 9,550 |
| | | 雑費 | 0 |
| | | 人件費 | 300,000 |
| | | 繰越金 | 4,273,042 |
| 合計 | 6,295,228 | 合計 | 6,295,228 |

## 2023 年度事業計画 (案)

1. 会合

○電影会総会 ○役員会

○幹事会 ○学内幹事会

2. 事業

○新入生向け電影会案内 ○学生向け講演会

○電影会会誌発行 ○卒業祝賀会 ○電影会賞

○大学行事への補助 ○卒業生と学生との懇談会

○名古屋工業会との連携

## 2023 年度予算 (案)

| 科目 | 収入 | 科目 | 支出 |
|---|---|---|---|
| 繰越金 | 4,273,042 | 通信費 | 750,000 |
| 入会金 | 1,290,000 | 印刷費 | 800,000 |
| 工業会より | 0 | 事務費 | 10,000 |
| 利息 | 100 | 会合費 | 80,000 |
| 雑収入 | 280,000 | 学生行事補助 | 380,000 |
| 寄付金 | 1,100,000 | 大学行事補助 | 60,000 |
| | | 総会補助 | 55,000 |
| | | 支部活動費 | 150,000 |
| | | ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ経費 | 10,000 |
| | | 雑費 | 10,000 |
| | | 人件費 | 320,000 |
| | | 繰越金 | 4,318,142 |
| 合計 | 6,943,142 | 合計 | 6,943,142 |

## 2023 年度役員(案)

| | |
|---|---|
| 名誉会長 | 犬飼英吉(E28)<br>中村光一(E41)<br>北村正(Es48) |
| 顧問 | 川村信之(E53)　石橋豊(J56) |
| 会長 | 山中清(J 52) |
| 副会長 | 川越英二(E47)　原田幹寿(E53)<br>藤社彰(J52)　安井晋示(E62) |
| 理事 | 岩塚真之(E56)　岩崎誠(E61)<br>三宅正人(E60) |
| 監事 | 市原正樹(E48) |
| 庶務理事 | 廣瀬光利(E50)　青木睦(EJh4) |
| 会計理事 | 平田達也(J62)　大塚孝信(CSh28) |
| 編集理事 | 中村勇太(2013)<br>島孔介(CSh26) |
| 庶務補佐 | 松井俊浩(EJh7) |
| 会計補佐 | 安部功二(Ejh15) |

# 学位取得者一覧

電気・機械工学専攻 （2023 年 3 月　課程博士）

| 氏　名 | 論 文 題 目 | 主査教員名 |
|---|---|---|
| 森本　涼太 | Computational Evaluation of Temperature Rise in Human for Radio-Frequency Exposure above 6 GHz | 平田　晃正 |
| LI Tong | Drop-dry Deposition of Metal Hydroxide/Oxide Thin Films for Semiconductor Applications | 市村　正也 |
| MOHD FAIZAL BIN ACHOI | Fabrication and Properties of Methylammonium Bismuth Iodide Perovskite Solar Cell by the Multi-step Spin Coating and the Hot Immersion Method | 曾我　哲夫 |
| 岡田　孟士 | Study on HEFSM with High Performance for Automotive Traction Drive | 小坂　卓 |
| 黒田　英太郎 | 共振モードを有する精密サーボ機構に対する自動フィードバック制御器設計 | 岩崎　誠 |
| 棚橋　優 | 需要家向けのマイクログリッドシステムにおける設備容量および運用の最適化に関する研究 | 青木　睦 |

情報工学専攻 （2023 年 3 月　課程博士）

| 氏　名 | 論 文 題 目 | 主査教員名 |
|---|---|---|
| 相良　陸成 | 参照枠推定を伴う位置概念と言語表現の教師なし学習 | 田口　亮 |
| 竹野　思温 | A Study on Information-Theoretic Bayesian Optimization | 烏山　昌幸 |
| 三浦　哲平 | 話者中心の手話認識と翻訳に向けた全方位カメラを用いた装着型 MoCap システム | 酒向　慎司 |
| 鈴木　和大 | Realization of non-flat totally geodesic surfaces in symmetric spaces of type A | 大橋　美佐 |

情報工学専攻 （2023 年 3 月　論文博士）

| | | |
|---|---|---|
| 増尾　明 | 医療現場ニーズに根差した神経疾患リハビリテーションへの情報技術応用 | 加藤　昇平 |

# 入試・就職状況

2022 年度入学者選抜状況

電気・機械工学科

| | 推薦 | 前期日程 | 後期日程 |
|---|---|---|---|
| 募集人員 | 30 | 105 | 65 |
| 志願者数 | 90 | 329 | 515 |
| 受験者数 | 65 | 316 | 229 |
| 合格者数 | 25 | 112 | 83 |

情報工学科

| | 推薦 | 前期日程 | 後期日程 |
|---|---|---|---|
| 募集人員 | 15 | 85 | 45 |
| 志願者数 | 32 | 341 | 456 |
| 受験者数 | 32 | 321 | 229 |
| 合格者数 | 16 | 89 | 55 |

私費外国人留学生特別選抜

| | 電気・機械工学科 | 情報工学科 |
|---|---|---|
| 募集人員 | 若干名 | 若干名 |
| 志願者数 | 15 | 18 |
| 受験者数 | 11 | 16 |
| 合格者数 | 3 | 4 |

編入学・転入学 （3 年）

（ ）は内数で転入学数を表す

| | 電気・機械工学科（電気電子分野） | 情報工学科 |
|---|---|---|
| 募集人員 | 若干名 | 若干名 |
| 志願者数 | 21(2) | 15(1) |
| 受験者数 | 19(1) | 15(1) |
| 合格者数 | 6(0) | 6(1) |

電気・機械工学コース（夜間主）

| | 推薦 | 総合型選抜 |
|---|---|---|
| 募集人員 | 8 | 2 |
| 志願者数 | 14 | 10 |
| 受験者数 | 14 | 10 |
| 合格者数 | 8 | 4 |

大学院・電気・機械工学系プログラム（博士前期）

| | 推薦 | 一般選抜 | 私費留学生 |
|---|---|---|---|
| 募集人員 | 54 | 96 | 若干名 |
| 志願者数 | 59 | 150 | 4 |
| 受験者数 | 59 | 146 | 3 |
| 合格者数 | 56 | 119 | 1 |

大学院・情報工学系プログラム（博士前期）

| | 推薦 | 一般選抜 | 私費留学生 |
|---|---|---|---|
| 募集人員 | 31 | 71 | 若干名 |
| 志願者数 | 33 | 113 | 13 |
| 受験者数 | 33 | 112 | 10 |
| 合格者数 | 31 | 91 | 6 |

大学院・電気・機械工学系プログラム（博士後期1次募集）

| 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 |
|---|---|---|---|
| 9 | 4 | 4 | 4 |

大学院・情報工学系プログラム（博士後期1次募集）

| 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 |
|---|---|---|---|
| 7 | 4 | 4 | 4 |

大学院・国際連携情報学専攻（博士後期）

| 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 |
|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 1 | 1 |

大学院・電気・機械工学系プログラム（博士後期２次募集）

| 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 |
|---|---|---|---|
| 若干名 | 4 | 4 | 4 |

大学院・情報工学系プログラム（博士後期２次募集）

| 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 |
|---|---|---|---|
| 若干名 | 2 | 2 | 2 |

2022 年度卒業者就職状況

| | 電気電子分野 | | | 情報工学科 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 大学院 | 一部 | 二部 | 大学院 | 一部 | 二部 |
| 卒業者 | 91 | 108 | 1 | 126 | 150 | 2 |
| 進学者 | 2 | 82 | 1 | 4 | 115 | 0 |
| 研究生 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| 一般企業 | 86 | 18 | 0 | 111 | 21 | 1 |
| 公務員 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 |
| 教員 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 帰国（留学生 | 1 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 |
| 休学他 | 1 | 7 | 0 | 4 | 3 | 1 |
| 未定者 | 1 | 0 | 0 | 2 | 4 | 0 |

## 電影会賞

この賞は、電影会準会員の向学心向上と優秀な学生の育成を目的とし、卓越した成績で卒業し、今後の科学技術の発展に貢献すると思われる有望な学生を表彰することを目的としています。2022 年度の受賞者は以下の方です。

| 氏名，所属 |
|---|
| 佐野　匠紀，第一部電気・機械工学科 |
| 奥西　祐介，第一部電気・機械工学科 |
| 牧野　隼宜，第一部電気・機械工学科 |
| 船津　翔平，第一部電気・機械工学科 |
| 山田　健人，第一部電気・機械工学科 |
| 溝口　裕太，第一部電気・機械工学科 |
| 古橋　優，第一部電気・機械工学科 |

| 氏名，所属 |
|---|
| 山本　健太郎，第一部情報工学科 |
| 金子　友南，第一部情報工学科 |
| 伊藤　有生，第一部情報工学科 |
| 石川　和樹，第一部情報工学科 |
| 神谷　直輝，第一部情報工学科 |
| 安藤　友美，第一部情報工学科 |
| 石原　秀康，第一部情報工学科 |

## 学生の表彰

紙面の都合上、受賞内容の詳細は省略させていただきます。

| 賞の名称，氏名，所属，指導教員氏名 |
|---|
| Best Student Paper Award of IEEE ICA 2022 (6th IEEE International Conference on Agent)　(2022.11)，木下良輔，情報工学系プログラム，白松俊教授 |
| 第 17 回情報危機管理コンテスト　経済産業大臣賞（2022.5），P01TERGEIST（今井啓貴，川西晶大，桜井涼太，徳田祥太），工学専攻情報工学系プログラム・情報工学科，齋藤彰一教授 |
| 公益財団法人マザック財団論文表彰（2022.5），黒田英太郎，電気・機械工学専攻，岩崎誠教授 |
| 電気学会産業応用部門論文賞（2022.8），黒田英太郎，電気・機械工学専攻，岩崎誠教授 |
| 計測自動制御学会中部支部 第 53 期支部賞（奨励賞）（2023,1），黒田英太郎，電気・機械工学専攻，岩崎誠教授 |
| IIAI AAI 11th Intl. Conf. on Smart Computing and Artificial Intelligence, Honorable Mention Award (2022.7)，堀真彰，情報工学系プログラム，松井俊浩准教授 |
| 電気学会 電力・エネルギー部門大会 YOC(Young engineer Oral presentation Competition)奨励賞(2022.10)，中村湧人，創造工学系プログラム，青木睦准教授 |
| 電気学会 電力・エネルギー部門大会 YOC(Young engineer Oral presentation Competition)奨励賞(2022.10)，堤大知，電気・機械工学系プログラム，青木睦准教授 |
| 電気学会 保護リレーシステム研究会 若手優秀論文発表賞，平山晃己，電気・機械工学系プログラム，青木睦准教授 |
| 電気学会 電力・エネルギー部門大会　YOC 優秀発表賞（2022.9），上田理央，電気・機械工学系プログラム，安井晋示教授 |

| |
|---|
| 電気設備学会 全国大会　優秀発表賞（2022.9), 中村飛翔, 電気・機械工学系プログラム, 安井晋示教授 |
| IEEJ Industry Applications Society Excellent Presentation Award (2022.8), 林賢志, 電気・機械工学系プログラム, 関健太准教授 |
| 電気学会東海支部長賞（2023.3), 電気・機械工学科, 相原祐紀, 関健太准教授 |
| 日本音響学会, 第 24 回(2022 年春季研究発表会)学生優秀発表賞(20220915), 平光啓佑, 情報工学専攻, 橋本佳准教授 |
| 2022 IEEE 11th Global Conference on Consumer Electronics Excellent Poster Award Outstanding (2022.10), 熊谷啓太, 情報工学系プログラム, 後藤富朗准教授 |
| 「2022 年 情報通信マネジメント研究賞」（電子情報通信学会 情報通信マネジメント研究会）（2023.03）, 竹谷大地, 工学専攻情報工学系プログラム 博士前期課程, 川島龍太 |
| マザック財団 優秀論文賞（2022.5), 黒田英太郎, 電気・機械工学専攻, 前田佳弘准教授 |
| IEEJ Industry Applications Society Distinguished Transaction Paper Award（2022.8), 黒田英太郎, 電気・機械工学専攻, 前田佳弘准教授 |
| 計測自動制御学会中部支部 奨励賞（2023.1), 黒田英太郎, 電気・機械工学専攻, 前田佳弘准教授 |
| 電気学会メカトロニクス制御研究会 優秀論文発表賞（2023.2), 佐藤慎平, 電気・機械工学系プログラム, 前田佳弘准教授 |
| 電気学会メカトロニクス制御研究会 優秀論文発表賞（2023.2), 塩原卓矢, 電気・機械工学系プログラム, 前田佳弘准教授 |
| 名古屋工業大学学生研究奨励（2023.3), 黒田英太郎, 電気・機械工学専攻, 前田佳弘准教授 |
| 第 61 回日本生体医工学会大会 2022 Young Investigator's Award 最優秀賞（2022.6), 戸嶋和也, 電気・機械工学専攻, 森田良文教授 |
| 計測自動制御学会 優秀学生賞（2023.3), 中村　愛, 電気・機械工学系プログラム, 森田良文教授 |
| 計測自動制御学会 優秀学生賞（2023.3), 横山玲香, 電気・機械工学科, 森田良文教授 |
| 2022 IEEE International Workshop on Electromagnetics: Applications and Student Innovation Competition (iWEM2022) Student Innovation Competition Winners (2022.8), 森岡隆文, 電気・機械工学系プログラム, 榊原久二男教授 |
| 電子情報通信学会マイクロ波研究会　学生研究優秀発表賞（2022.3), 山崎誠, 電気・機械工学系プログラム, 榊原久二男教授 |
| 電子情報通信学会無線通信システム研究会 2022 年度初年度発表者コンペティション優秀発表賞（2023.01), 戸澤遼, 電気・機械工学科, 岡本英二准教授 |
| 電子情報通信学会東海支部卒業研究発表会 優秀卒業研究発表賞（2022.06), 山浦健介, 創造工学プログラム, 岡本英二准教授 |
| 電子情報通信学会東海支部 学生研究奨励賞（2022.06）, 奥村守,　電気・機械工学系プログラム, 岡本英二准教授 |
| 電子情報通信学会無線通信システム研究会 2021 年度奨励賞（2022.05), 浅野敬祐, 電気・機械工学系プログラム, 岡本英二准教授 |
| 第 61 回日本生体医工学会大会 Young Investigator's Award 優秀賞（2022.6）, 増尾明, 情報工学系プログラム, 加藤昇平教授 |
| JSAI2022 全国大会優秀賞 オーガナイズドセッション口頭発表部門（2022.7）, 原田誠一, 情報工学系プログラム, 加藤昇平教授 |
| FIT2021 船井ベストペーパー賞, 船井情報科学振興財団（2022.9）, 原田誠一, 情報工学系プログラム, 加藤昇平教授 |
| 第 20 回情報学ワークショップ（WiNF2022）優秀賞（2022.12）, 中村早希, 情報工学系プログラム, 加藤昇平教授 |
| 第 20 回情報学ワークショップ（WiNF2022）奨励賞（2022.12）, 近藤一希, 情報工学科, 加藤昇平教授 |
| 第 85 回情報処理学会全国大会学生奨励賞（2023.3）, 伊藤有生, 情報工学科, 加藤昇平教授 |
| 第 85 回情報処理学会全国大会学生奨励賞（2023.3）, 阪口航太, 情報工学科, 加藤昇平教授 |
| 名古屋工業大学 学生研究奨励学長賞（2023.3）, 原田誠一, 情報工学系プログラム, 加藤昇平教授 |
| 名古屋工業大学 学生研究奨励副学長賞（2023.3）, 中村早希, 情報工学系プログラム, 加藤昇平教授 |
| 名古屋工業大学 学生研究奨励副学長賞（2023.3）, 古川翔也, 情報工学系プログラム, 加藤昇平教授 |
| 名古屋工業大学 学生研究奨励副学長賞（2023.3）, 渡邉南美, 情報工学系プログラム, 加藤昇平教授 |

## 電影会運営資金寄付者

以下の方々より寄付をいただきました。ご高配に厚く御礼申し上げます。なお、学科の略語の記載を省略し、卒業年のみ記載させて頂きましたので予めご了承ください。2023 年 2 月末までの寄付分を掲載しております。

昭 16　横井實
昭 22　中村正雪 村上庄之介
昭 23　松下昭 牧野和正
昭 24　井上高明 小林滋弘
昭 25　中村正夫 安良城勝也
昭 26　原行一 奥村士郎 松原英二 波多野寅英 阪口貢
昭 28　山田速水 嶋田宏
昭 30　八島道雄 青木茂
昭 31　大嶋光朗 木林宗治 松尾純一 辻村尚明
昭 32　岡野修 森千鶴夫 水谷安郎 藤井栄麿
昭 33　中谷恭朗 寺社下政美 山田悦弘 松山幸夫
森下正三 畑雅恭 石川二朗 竹内儀行 荒井英二
藤田正浩
昭 34　山﨑善太郎 清水政克 草野洋 鈴木倭
昭 35　三浦允之 中西和義 千種良夫 岡田昌孝
後藤秋生 梅野正義 薗田耕一 金子勝藏
昭 36　伊藤千尋 増田勝一 安藤元吉 小田征一郎
西村秀夫 馬路才智 黒田和助
昭 37　半田徹 野田昭 高橋宏一
昭 38　中谷光男 八代弘 是木修一 高島裕之
昭 39　下前哲夫 岡田守弘 水澤健一 津崎芳三
田村英也 矢田公一 近藤芳孝
昭 40　大西旻 小澤容 山本健美
昭 41　中村光一 前越久 神本勝己 谷辰夫
昭 42　中山静夫 伊藤洋太郎 吉村洋典 小島一男
川島征一郎 水野重雄 青木猛
昭 43　堀尾猛 浅井信義 牧野正俊 田原基司
昭 44　佐藤恒夫 木原清 柴田俊夫 片桐清志 菅野宗二
長見晃
昭 45　上田政博 松崎敦志 桶昭一 櫛部精次郎
石割三千雄 須藤章夫
昭 46　田中隆三
昭 47　加藤元三郎 卯野秀忠 山内一昭 川越英二
星野幸吉 田島耕一 金澤秀喜 鈴木孝一
昭 48　中島正敏 北村正 市原正樹 平尾篤 米山高志
米谷忠俊 蓮田史則
昭 49　桑原成光 田村安治 緒方善郎 谷澤好晴
須藤敏雄
昭 50　浅井良一 浜岡重男 眞鍋和人
昭 51　吉村元 太田仁啓 山田清 恩地秀男
昭 52　内海和彦 宮瀬善行 宮脇誠 山口好孝 東野秀隆
高石由紀夫
昭 53　任上彦 山本博彦 明慶寧
昭 54　大前義信 大江準三 木村康則 杉浦伸明
片桐彰夫 白井仁 竹田治徳
昭 55　岩崎政彦
昭 56　山口初一 浅羽哲朗 石橋豊 萩原秀和 西山寿美
昭 57　安藤幹人 菊間信良 野口敏彦 鈴木克彦
青柳昌宏
昭 58　冨田広和 村上真人 田口秀穂 足立利浩
昭 59　山崎博 森本亘 酒井泰誠
昭 60　新川武
昭 61　熊崎昭
昭 62　小栗宏次 犬塚信博
昭 63　佐藤俊樹 小林直樹 後藤篤 猪島政之 田中力
竹腰健史 鎌田和弘
平元　三浦篤志 林宏明 長友則生
平 2　荒川英夫
平 4　青木睦
平 6　斉藤洋一 鈴木祥浩
平 7　松井俊浩 比良知之
平 9　今井学 後藤富朗
平 10　佐藤宣夫 布目敏郎
平 12　岸直希
平 13　三浦太朗
平 15　丹羽伸次郎 川原淳平 榛葉隆 橋本真吾
平 16　加藤政幸 小松正幸
平 20　田中伸太郎 田中慎一郎 竹内一将 都築賢二
平 21　本種和弘
平 23　田中賢治
平 24　横井隆太
平 26　荒木千佳
平 30　山中勇弥
平 31　大堀良介
平 33　中本敦子

## 学 科 近 況

◎　学科役職(新年度の電影会関連教職員のみ)

2023 年度電気・機械工学類・系プログラム

| | |
|---|---|
| 類長/プログラム長 | 森西 洋平 教授 |
| 副類長/副プログラム長 | 榊原 久二男 教授 |

2023 年度情報工学類・系プログラム

| | |
|---|---|
| 類長/プログラム長 | 加藤 昇平 教授 |
| 副類長/副プログラム長 | 玉木 徹 教授 |
| | 白松 俊 教授 |
| | 津邑 公暁 教授 |

2023 年度就職担当

| | |
|---|---|
| 電気・機械工学類 | 市村 正也 教授 |
| 情報工学類 | 白松 俊 教授 |
| | 大塚 孝信 准教授 |

◎　2022 年度退職教職員

| | |
|---|---|
| 電気・機械工学類 | Gomez Tames Jose David 准教授 |
| 情報工学類 | 水澤 靖 教授 |
| | 山本 いずみ 教授 |

◎　2022 年度新任教職員

| | |
|---|---|
| 電気・機械工学類 | 小寺 紗千子 准教授 |
| 情報工学類 | 櫻井 祐子 教授 |
| | 上乃 聖 助教 |
| | 島 孔介 助教 |

# 総 会 通 知

2023 年度の同窓会行事として、電影会総会を下記のように開催することと致しました。コロナ禍の状況ではありますが、今年度はハイブリッド（対面・オンライン=Zoom）にて開催させていただきます。是非ご出席下さいますようご案内申し上げます。なお、昭和４８年３月の御卒業で総会に御出席の各位には、ご卒業満50年をお祝い致しまして、記念の品をお贈り致します。

**日　時**：**2023 年 5 月 26 日（金）17:00～18:30**
**会　場**：６号館11階大会議室
**会次第**：16時30分　会場受付開始
　　17時00分　総会
　　17時30分　講演会
**演題**：テレビ放送開始 70 年と未来ビジョン
**講師**：日本放送協会 名古屋拠点放送局 技術部部長 吉田 征彦 氏（Ejh7）

◎ご出席の連絡は **2023 年 5 月 19 日（金）まで**に office@denei.jp まで電子メールにてご連絡下さいますようお願い申し上げます。オンライン参加予定者には別途、メールにて Zoom アドレスをご連絡させて頂きます。

## 関西支部からのお知らせ

昨年（2022 年）は 2019 年以来 3 年ぶりに対面での支部総会を開催し、多数の参加をいただきました。また母校からは武藤敦子先生（JH10）にお越し頂き、「鶴桜会」（女性卒業生の会）等最新の話題を講演頂きました。

さて本年（2023 年）の総会は**7月 8 日（土）の午後**を予定しています。開催形式については、対面とウエブとのハイブリッド方式で検討しています。

詳細は例年通り 6 月上旬に往復ハガキで連絡いたします。ご意見等ありましたら、以下のアドレスにお願いいたします。

kansai@denei.jp　　関西支部長 川越英二(E47)

## 名古屋工業会総会のご案内

名古屋工業会 2023 年度定期総会及び会員総会が、**2023 年 5 月 27 日（土）**に開催されます。皆様奮ってご参加のほどよろしくお願いいたします。

## 電影会寄付募集のお願い

現在、電影会は名工大へ入学時に皆様からお納めいただいた会費、並びに卒業された皆様からの寄付金によって運営されています。

でんえい会誌の発行やホームページによるサービスを始め、電影会の運営をスムーズに行うため、今後とも皆様からの寄付をお願いいたしたく存じます。よろしくお願い申し上げます。

尚、寄付をいただいた方は、次号にお名前を掲載させていただきます。

一口　　：2000 円
郵便振込先：00860-9-19618　電影会

## 名古屋工業大学基金寄付募集のお願い

現在、名古屋工業大学は皆様からの寄附を募集しております。詳しくは名古屋工業大学基金のウェブサイト（http://www.nitech.ac.jp/kikin/）をご覧ください。

## 投稿記事の募集

でんえい会誌の記事を募集いたしますので、会員の皆様からの積極的なご投稿を電影会までお願いいたします。1 ページ約 1600 字です。

編 集 委 員　安井晋示（E62）　中村勇太(2013)
青木睦(EJh4)　島孔介(CSh26)
大塚孝信(CSh28)

発　　行　名古屋工業大学内電影会
〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
つくり領域 青木睦（庶務理事）
E-mail：office@denei.jp　URL：http://www.denei.jp/

## 名簿充実にご協力をお願いします

現在，電影会は約 15,000 人の存命会員を擁しています。その中で電影会誌をお届けできているのは半数に過ぎず，あとの半数は消息不明となっています。わたしたちは，より多くの方々に電影会誌をお送りすることで，絆を強くし，多くの情報，質の高いサービスを名工大とともに提供して参りたいと考えています。そこで，名簿の信頼性向上と充実，消息不明数の縮減を進める必要があります。名簿上は消息不明の方も同級生との間で連絡可能であることが少なくありません。同級生の最新名簿をお持ちの方におかれては，是非，その名簿を電影会事務局に送って頂きたくお願い申し上げる次第です。まずは，ご一報ください。（meibo@denei.jp）